

アルビレックス新潟サポーターカンファレンス参加申込時にいただいた、質問・意見一覧

(ご質問いただいた内容を一部わかりやすい表現に修正している部分もございます)

<最終戦代替開催について>

- 苦渋の選択だったと想像できますが、結局 J リーグアウォーズありきだった感が否めません。金銭的負担はどの程度あったのか？ J リーグはどこまで支援してくれたのか？ 毎年、開幕戦ができない関係上、最終節はホーム開催となるわけで、そういった点を今後リーグ側にどのように働きかけるのか。地方雪国クラブがリーグ側に軽んじられているような気がして残念でたまりませんでした。(50 代女性)
- 最終戦はなぜ 8 日と急がなければならなかったのか？ (60 代男性)
- 今季の最終節は残念な事になりましたが、保険とかに入っていたのですか？ (30 代男性)
- 最終節は天候のため、とても残念な結果になった。会場を貸してくれた鹿島の関係者には本当にありがたい。ただ、やはりセレモニーなどは別でやる事は出来なかったのか。また、返金などが発生しているがその分は保険やリーグから補助などあるのか？ (30 代男性)
- 代替試合開催に伴うクラブとしての実質的な損失はあったのでしょうか？ 規約上はリーグから補填されるようですが。利益までは補償してもらえるのでしょうか？ (50 代男性)
- 最終節柏戦、大雪のためと云えど、J リーグのスケジュールに合わせた消化試合みたいで、未だにホーム最終戦が終わっていないような気持ちです。多くのサポーター、スポンサー、それにこの寒い季節に試合運営に関わる現場スタッフ等、多大なる迷惑が掛かります。この機会にぜひ J リーグに申し入れを！ ワールドカップ等によるリーグ長期中断をやめてもらい、なでしこリーグ同様、遅くとも 11 月中旬には終わるように。J リーグはファン、サポーター、スポンサーあつてのプロスポーツです。(60 代男性)
- 最終節カシマスタジアムになった経緯は？ J リーグアウォーズは関係ないという J リーグ側の見解だが、後付けではないか？ あんなに寂しい想いはもう二度と経験したくない。(30 代女性)
- 最終節は本当にお疲れ様でした。チケット代を払い戻して寄付やグッズ購入をするか、払い戻さないか迷っています。クラブにとってどちらが良いのでしょうか？ (40 代女性)
- 最終節代替により、2014 年が赤字転落になる可能性は？ 最終節のような降雪による試合延期が今後発生した場合に今回の件を踏まえてどのような改善案を考えているのか？ (40 代女性)
- 最終戦は本当に悲しかったです。色々事情はあるでしょうが、個人的には今年が終わらないと言うか、年は越せないという感覚です。クリスマスとお正月をあげるから週末新潟で最終戦を・・・というくらいです。どうしてもすぐやらなきゃいけなかったのでしょうか？ とにかく、そう言う思いの者がいることはしっかり認識してください。(40 代男性)
- 予期せぬ事態でやむなく新潟より遠く離れたカシマスタジアムにて開催となってしまったが、この際の損失補てんについて、何らかの施しを J リーグより受けることになっているのか。一部報道にて「新潟県および新潟市の怠慢によって除雪作業がままならず、いわばクラブ側の過失によって今回の開催延期をもたらした」といった趣旨の記事が掲載されていたそうだが、今回の大雪に関しては正直天災とっていいくらいのもので、それを「怠慢」という一言で済まされるのは本当に許しがたく、地方クラブを軽視、愚弄しているかのように思えてならない。実際、無事開催への最善策に向けて奔走された田村社長はカシマでの試合終了後にサポーターへお詫びの言葉を述べておられたが、翌日に行われた J リーグアウォーズ内でチェアマンはあ

らかじめ用意されていた原稿をただただ読み上げただけで、クラブ・サポーターに対しねぎらいの言葉一つ掛けることもなかった。感情論に走ることで議論に弊害が及ぶことは承知の上だが、今回の件についてはものすごく虚しさを覚えてならなかった。(40代女性)

- 今回のホーム最終戦の延期及び代替地開催の問題は今までは回避できたが、今回のような事がまた起こる可能性もあり得るので、第2節をホーム開幕とするのではなく、第1節にホーム開幕をずらし、最終戦はアウェイで試合をした方が良いのではないかと。(50代男性)
- 開幕戦が毎年アウェイで行われているが、ホーム最終戦の方が天候が悪いことが多い。開幕戦はホームで行うべきではないか。(60代男性)
- シーズン移行について、アルビがどう思っているのか聞きたい。各クラブがシーズン移行の準備を進めることで合意しているそうですが、アルビは何か準備をしているのですか？また今年のホーム最終戦のようなことにはならないのでしょうか。(30代男性)
- 秋春制移行への反対姿勢に変更が無いのか。(40代男性)

<シーズン目標、チーム強化、選手契約、移籍について>

→選手個人に関わる部分もございましたので、いただいた質問・意見は掲載しておりませんが、質問内容を踏まえお話させていただく予定です。ただし、すべての質問に対する返答はできかねますので、あらかじめご了承ください。

<集客、チケット関連について>

- 観客動員数、特に有料入場者数を増やすための取組について (50代男性)

→繰り返し招待券を手にすることがないよう招待券の配券基準を改め、配券数を減らすことで招待券の着券率上昇を目指しております。それとともにチケット割引クーポンを導入し、チケット購入へのソフトランディングを促進する。サッカーをライブで観戦する魅力を伝えながら、それだけでない楽しみ(会場演出、イベント・グルメ)についても積極的に取り組み、ホームゲームの価値向上を目指します。また、中長期的に接客サービスや会場の雰囲気などを向上させることで親しみやすい会場づくりに取り組んで参ります。

- シーズンパスの販売数は盛り返しているのか？年別推移が知りたい。(40代女性)

- 観戦者数減少に対する対応策 (40代男性)

- 伸び悩んでいる入場者数の増加へのクラブとしての対策は？ (40代男性)

→招待券の発券枚数を増やせば一時的に観戦者数は増えるが、無償来場率が上がることで将来のクラブ経営を圧迫する可能性があります。観戦者数を減らさないように招待券をコントロールしながら、広報・ホームゲームの価値向上・ホームタウン活動など、来場者の有償率を上げるための様々な取り組みを続けていくことで、将来に渡って観戦者の維持や増加が可能になると考えております。

- 力一杯応援しますので、ここ一番の1試合だけで良いので、満員のスタジアム実現のために思い切った施策を打ってください。イベント用にスポンサーを募り、絶対人を呼べる様なお金の使い方をするのはいかがでしょうか？1試合集中で。どんな手を使ってでも満員にすれば、久しぶりに熱気あるスタジアムを体験した方たちは再びリピーターになってくれるでしょう。妖怪ウォッチと仮面ライダーと戦隊物とアンパンマンとプリキュアショーを全部一気にやるとか、瀉コン1万人 vs 1万人 in ビッグスワンなど。大学生や女性は無料など、やり過ぎ位な

ことをやっても良いのではないのでしょうか。シーズン序盤が効果的です。過去のデータから子どもの日辺りは集客がしやすかったと思います。準備時間もあると思います。原点回帰で過去にスポンサーになって頂いた企業に「もう一度だけ力を貸してください」と言うのも良いのではないのでしょうか。リピートのため、アンケートに答えるとくじ引きに参加ができ、「次の試合の招待券か駐車券か駅からの往復バス券かビール1杯」が当たるなんていうのは面白いと思います。データも取れますし、行列が出来て渋滞緩和にも一役買うかも知れません。人は行列に弱いですね。招待券を撒くのがイマイチでしたら、有料券と同伴なら無料になる券とか、その日だけ有料券1枚で2人入場出来ます。ただし、同時入場必須と言うのはいかがでしょうか。色々検討してください。(40代男性)

→ご意見として頂戴いたします。大学生に向けた招待企画については、これまで学校の事務棟などに申込制で招待券を手にする企画などを実施してきましたが、さほど来場していただけなかった実績があります。大学生というターゲット属性に対して、より効果的な招待方法や告知方法、当日のイベントやキャンペーンなどを検討しなければならないと感じております。また、これまで「オレンジ学割」という割引率の高い大学生向けの回数券を販売してきました。来年以降はさらに多くの大学生に購入していただけるよう販売方法の改善を検討しております。

女性無料に関しては、大学生向けの企画と同じく、既にシーズンパスを持っている女性にご理解をいただく必要があります。当日のオペレーションにも課題がありますが、協賛をいただきイベントやキャンペーンを加えたうえで年に1~2試合程度であれば面白いのかもしれないと思います。女性というターゲットを踏まえて告知方法や当日の催しなどを総合的に検討していきたいと思っております。

過去ご協賛いただいた企業への復活営業については、常日頃から行っております。「特別にこの試合だけ」というような理由・大義名分を訴求できるかが大事だと思っております。

招待券等を特典にしたアンケートは良いアイデアだと思います。アンケートに限らず、一度ご来場いただいた方に次も来ていただく、出来ればチケットを購入してきていただく施策については、できる限り検討していきたいと思っております。

すべてのアイデアが実現できる訳ではないので、当日のオペレーションが確立できるか、費用対効果は得られるかなど優先順位をつけて取り組んで参ります。

■青年層の集客について質問および提案です。高校を卒業した大学生の年代はチケット代も大人料金になるのでそこから観戦に遠ざかる、もしくは招待券に頼ることになりがちです。最近、各大学でお得な回数券チケットが販売されているようですが、それをもっと広げられないものではないでしょうか？また、この年代は後援会に入っていない人が多いと思いますが、年齢確認によってシーズンパスを後援会割引価格で購入できるようには出来ないのでしょうか？(50代女性)

→オレンジ学割については前述の通りです。大学生にとって、シーズンパスが高額であることについては、クラブとしても課題と感じており、現状、大学生の裾野を広げるために、オレンジ学割の拡大を最優先で取り組んでおります。シーズンパスの割引についても検討して参ります。

■半ば無理矢理に観戦させられているNSGの学生さんたちが、ハーフタイムにぞろぞろと帰って行く光景を見ると可哀そうと思ったり、それってどうなのよと思ったりもするが、クラブとしての見解は？(50代男性)

→NSGグループからは、学生観戦チケットの料金を協賛いただいております。様々な趣味嗜好

の学生がいらっしゃるのは事実ですので、すべての学生にサッカーやアルビレックス新潟を好きになってもらうのは難しいとは思いますが、10代後半から20代前半の方に実際にスタジアムに来場いただき、新潟のサッカーを観戦していただく、体験していただくことは、クラブや新潟の将来を考えた時に非常に価値のあることだと考えております。

■ホームページや会場での観戦初心者向けの案内が弱い。招待券の来場者に次回、チケットを購入してもらうために、Sスタンド・Eスタンドのグッズ売店やスタジアムグルメを充実させ、周回できること、等身大バナー等楽しみ方を紹介する。招待券と有償チケットの格差をアピールする掲示を増やしてはどうか？（40代男性）

→楽しみ方の訴求がまだまだ行き渡っていないことは課題と感じております。引き続き取り組んで参ります。

■北陸新幹線の開業に伴い、急行や快速の運行本数が変わることで上越地域からの客足に影響があるのではないかと心配しています。一方で、同時に開業する第三セクターのえちごトキめき鉄道（以下トキ鉄）では、利用客の確保を課題に上げています。そこで「上越から電車に乗ってアルビの試合を見に行く人を増やす」ことで、両方の問題を解決できないかと考えています。JRやトキ鉄、高速バス会社と連携して、公共交通機関を使って観戦に来ると、たとえばポイントがたまって、集めたポイントに応じて賞品がもらえたり割引がきいたりするような、そういう仕掛けができないでしょうか。（30代女性）

→アクセスの課題解決については、クラブだけではできないことが多く、長期的な取り組みであると感じています。行政や交通機関とクラブ、そしてサポーターがwin-winになるような活動ができるようにコミュニケーションを図っていきたいと思います。

■松本山雅との試合に合わせて企画を打てないでしょうか。松本からなら大糸線周りで来るにしろ長野周りで来るにしろ、どのみちトキ鉄を利用しますし、また、松本のサポーターも数が多いと聞いていますので、沿線住民にインパクトを与えられると思います。（30代女性）

案（1）松本駅～新潟駅間のホーム（列車内から見えるところ）にポスターを貼る

→アウェイ/ホームの気分を盛り上げる演出→掲示作業を「サポーターや沿線住民の有志で電車に乗って各駅に行きポスターを貼る」等イベント化できる→掲示作業に参加したサポーターの士気が高まる

案（2）新潟⇄山雅「往復」乗車券

→記念デザイン（いっそ硬券にするとか）、記念品等付加価値をつける→往復にすることでホーム・アウェイ両方に足を運んでもらえる。

→松本山雅だけでなく、アウェイチームと一緒にあって取り組む企画は非常に魅力的だと思います。ご意見として頂戴いたします。

■松本山雅のチケットが手に入りにくいことが想像できますが、アウェイチケットのシーズンパスホルダーへの優先販売はしてもらえないのですか？（50代女性）

→すべてのアウェイチームではないですが、アウェイチケットの取扱はビッグスワンのチケット販売所で行っております。シーズンパスホルダーへの優先販売については検討いたします。

■まだ企画段階でしかないが、日程が合えば社員旅行にアウェイ戦観戦を盛り込みたいと考えている。もしそうしたイベントを企画した際、チケットの確保やサインなどのプレゼントなどクラブと連携してすることは可能か？（30代男性）

→ご協力できるかどうかは分かりませんが、日程等決まりましたらクラブまでご相談ください。

<イベント、プロモーション関連>

■普段サッカーに興味のない方に対し、少しでも関心を持ってもらおうと様々なイベントが催されていたが、とある試合前に新潟プロレスと Negicco のミニライブが開催された際には、さすがに欲張り過ぎというか、何でも詰め込み過ぎとってしまった。出演者のスケジュールの都合もあるのだろうが、もう少し計画的な企画をしてもらいたい。(40代女性)

→新潟プロレスと Negicco のミニライブの時間が重なってしまい、両方見たかったというお声はいただいております。今後は出演者様と早期から調整を行って参ります。

■観客を呼び戻すためには小さい子からお年寄りまでが楽しめる(応援できる)ことが大事だと思います。なぜ選手入場時に英語の歌詞(エルビス)なのですか?アイシテルニイガタの方がスタジアム中から声が出ます。(40代男性)

→スタジアムでの応援スタイルやサポーターの皆さんの表現について、クラブとして大切なのは「クラブの目指すスタジアムの方向性を常に発信し、理解してもらうこと」だと考えております。今季はサポーターの方々と連携し、「アイシテルニイガタ~想いをひとつに~」プロジェクトを展開、その中で「アルビレックスコール」で選手を迎えた試合もありました。応援方法やチャントなどはサポーターの皆さんの想いや伝統を大切にしております。

■スポーツは、中高生の自立支援にとっても良い教材と考えます。アルビレックスの選手たちが新潟の子どもたちと、もっと交流ができれば、子どもたちにとって本当に励みになると思います。大変かと思いますがシーズン中もそのような機会があると理想的だと思います。(30代男性)

→選手が直接子どもたちと触れ合うことによる効果は非常に大きいと思いますし、クラブの理念を具現化した活動だと考えております。チームスケジュールに支障をきたさない範囲で、ホームタウン活動については拡大していけるよう努力して参ります。

■アミューズメント化の進捗状況。楽天の試合では、「あそぶひろば」と題したアトラクションを開催していて、集客や家族連れの満足度向上に役立っているそうです。(40代男性)

→来場のきっかけづくりとして、アミューズメント化を通して、既存の来場者以外の層に対してホームゲームへの来場を訴求することについては、他国のスポーツビジネスでも効果が実証されていますので、今後も可能な限り取り組んでいきたいと思っております。その流れの中で、「サッカーやアルビレックス新潟に対する想い」を強く持っていただけるような活動を並行して行っていくことも大切だと感じております。

■上越地域に対するサポーター確保の方策について(選手サイン会、練習見学、学校訪問等)
(60代男性)

■中越地域の普及活動の一環として、長岡市陸での練習試合、キャンプ、なでしこリーグの開催を検討して欲しい(40代男性)

→スタジアムから遠方にも関わらず温かく応援してくださる方がいらっしゃることに感謝しております。より身近に感じていただけるよう、今後も取り組みを検討して参ります。

■ファミリーJoin デイズでは親子で芝の中に入る機会はあるが、その他の年齢層は芝の中に入ったことのない方が多いと思うので、若者や高齢の方にも試合前のビッグスワンの芝に入らせて欲しい。(60代男性)

→2014年は5月下旬から芝生の全面張替工事が行われました。その関係もあり芝生の利用制限が例年以上に厳しい面もありました。できる限り多くの方に体験いただけるよう、スタジアムと調整して参ります。

■試合翌日のファンサービスをしてくれる選手とそうでない選手がいるのですが、わざわざ遠くから来ているサポーターもいるので、どの選手がしてくれるのか、当日でも良いから教えて欲しいです。(50代女性)

→選手のコンディションなど様々な要素があります。ご意見として頂戴いたします。

<試合観戦環境等>

■屋根付き若しくは、暖房設備設置を検討して欲しい。(40代男性)

■専用スタジアムについて、検討して欲しい。(40代男性)

→大規模な計画となりますのでクラブだけの問題ではなく、関わる多くの皆様と協議・連携が必要となります。

■渋滞緩和策の進捗状況(40代男性)

■試合後の渋滞緩和の解消について、サポーターを含めた委員会などを設置してアイデアを出すことは可能でしょうか?(40代男性)

→駐車場からの出庫に関してはスムーズになったと今年も多くのお客様からお言葉を頂戴しております。渋滞に関しては駐車場周辺だけではなく、スタジアムに繋がる大通り(弁天線や新潟中央IC先の女池方面)が混雑しているなど、ホームゲームだけの問題ではありません。委員会の設置も含め、引き続き新潟県・新潟市・警察と連携をして参ります。

■駐車場台数に限りがある中、シャトルバス利用促進のため、現在実施している往復乗車券の他に新潟交通ICカード「りゅーと」のアルビバージョンのカードデザインを限定販売したり、りゅーとの乗車ポイントを増やしたりするなど、新潟交通と協議して欲しい。特別デザインの交通ICカードは、ジュビロ磐田や広島カープ、楽天イーグルスで販売実績がある。(男性)

→運行いただいている新潟交通様と協議検討して参ります。

■Sスタンドの観戦において、対戦チームのサポーターが多い場合は1層目の端になることがある。1層目で観戦したい新潟サポーターもいるため、対戦チームのサポーターが1層目の半分以上の座席数を占める場合は1層目と2層目に分けて欲しい。(60代男性)

→ご意見として頂戴いたします。

<商品(飲食、グッズ等)関連>

■オフシーズンでもユニパッチやガチャポン系のグッズを手に入れたいので、オレンジガーデンに設置して欲しい。また、普段使いできるようなデザインのアパレルグッズ(ORANGISTAのようなもの)が欲しいです。(20代男性)

→ご要望としてオレンジガーデンに提案いたします。アパレルグッズのデザインにつきましても参考とさせていただきます。

■グッズの購入においてインターネットショップ限定で購入できるものがある。送料が掛かり購入を躊躇うことがあるので、送料が掛からず購入ができるように検討して欲しい。(60代男性)

→ご意見として頂戴いたします。

■クマチケのくまを定番化して欲しい。駄目なら受注生産にして欲しい。ホームに行けないサポーターもいるしインターネットショップにまわる数も少ないので。(30代女性)

→今後の展開について検討いたします。

■ソフトドリンクを安くして欲しいと要望したが、消費税が上がったのを理由に更に高くなっ

た。アルコール類はともかくソフトドリンクは子どもも飲む物なので安くして欲しい。(30代男性)

→ドリンクの販売価格は全売店統一価格となっております。ご意見として頂戴いたします。

■「新潟といえば」「新潟ならではの」といったグルメが乏しいように感じる。最近でこそイタリアンとかタレかつ丼といったものが売られるようになり、また浜焼きや鶏の半身揚げといったものも登場したが、どれもアピール不足という印象である。アウェイサポーターも多く来場し、県外の人へ絶好のアピールチャンスだというのに、どうも商売下手な感がぬぐえないでいる。せっかく美味しいものがあったてももったいないと感じてしまう。今季から販売された「笹だんごール!」。中身のオレンジ推しに正直閉口してしまった。そんなにオレンジ色にこだわらず、普通にヨモギの笹団子を作ってもらった方が良いと思った。(40代女性)

→各売店様にはシーズン開幕から初夏、初冬にメニューをリニューアルしていただくなど、思考を凝らしたメニュー販売にご協力いただき、新潟らしいメニューや定番となったグルメをご提供いただいております。「新潟ならではの」の観点で言うと、ご当地グルメのスポット売店の出店も年々増えておりますので、今後も売店様と協力してスタジアムグルメの充実を進めて参ります。「笹だんごール!」は今季初めての試みでしたが、今後の参考とさせていただきます。

<後援会について>

■後援会のメリットがあまり認知されていないのではないか? あからさまに割引される、イベントに優待される、それぐらいじゃないと増えないのでは? (30代男性)

→メリットだけでなく物心両面でのサポート、後援会の理念を中心に多くの皆様を知ってもらい、会員の拡大に努めていきたいと思っております。試合会場でのPRバナーやコンコース上でのパネル掲示、またWEBでは後援会活動の動画などを作成しPRを行っておりますが、引き続き会員の皆様と共に後援会のPRと拡大を目指して参ります。

<その他ご意見・ご提案等>

■SNS上で選手のプライバシーが侵害されている事がここ数年目立ちます。クラブ側から厳しいご対応をお願いします。(30代男性)

■チームの情報をtwitterなどで過剰に配信している者がいる。発見次第本人に注意を喚起し、同様な行動が繰り返される場合は処分を下して欲しい。(60代男性)

■監督の去就や選手の移籍の記事等をシーズン中は自粛できないのか? せめてリーグ戦が終わるまで。クラブ側からのリリースは別です。(30代女性)

■選手の移籍の際、ネット上で一部サポーターがある事ない事触れ回っていた。サポーターに関してはおもかく、選手に対して守秘義務やネットの炎上対策など、何かしら対策はしているのか? (30代男性)

■選手にも「アルビレックス新潟について」、「サポーターについて」思うところなり、言いたいことがあるのだろうな、と感じることが度々ありました。そういうところを知る機会がもっとあると良いと思います。(30代女性)

■クラブ主催のサポーターがお酒を飲む機会を設けて欲しい(納涼会、忘年会等)。(60代男性)